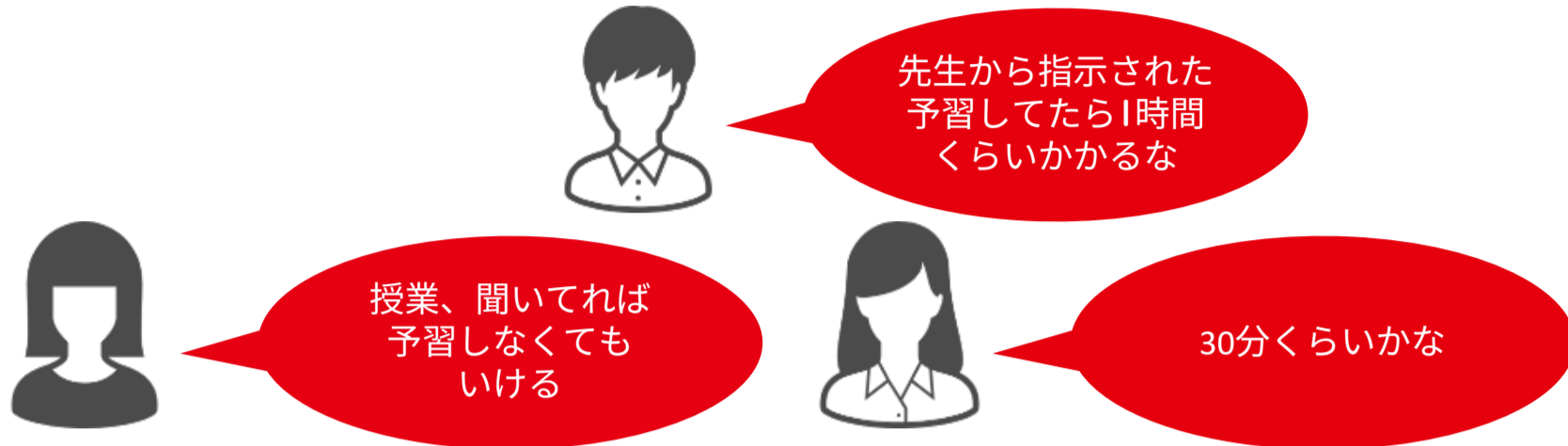


みんなの意見を先生に届けよう

# 学生による学期末の授業アンケート結果

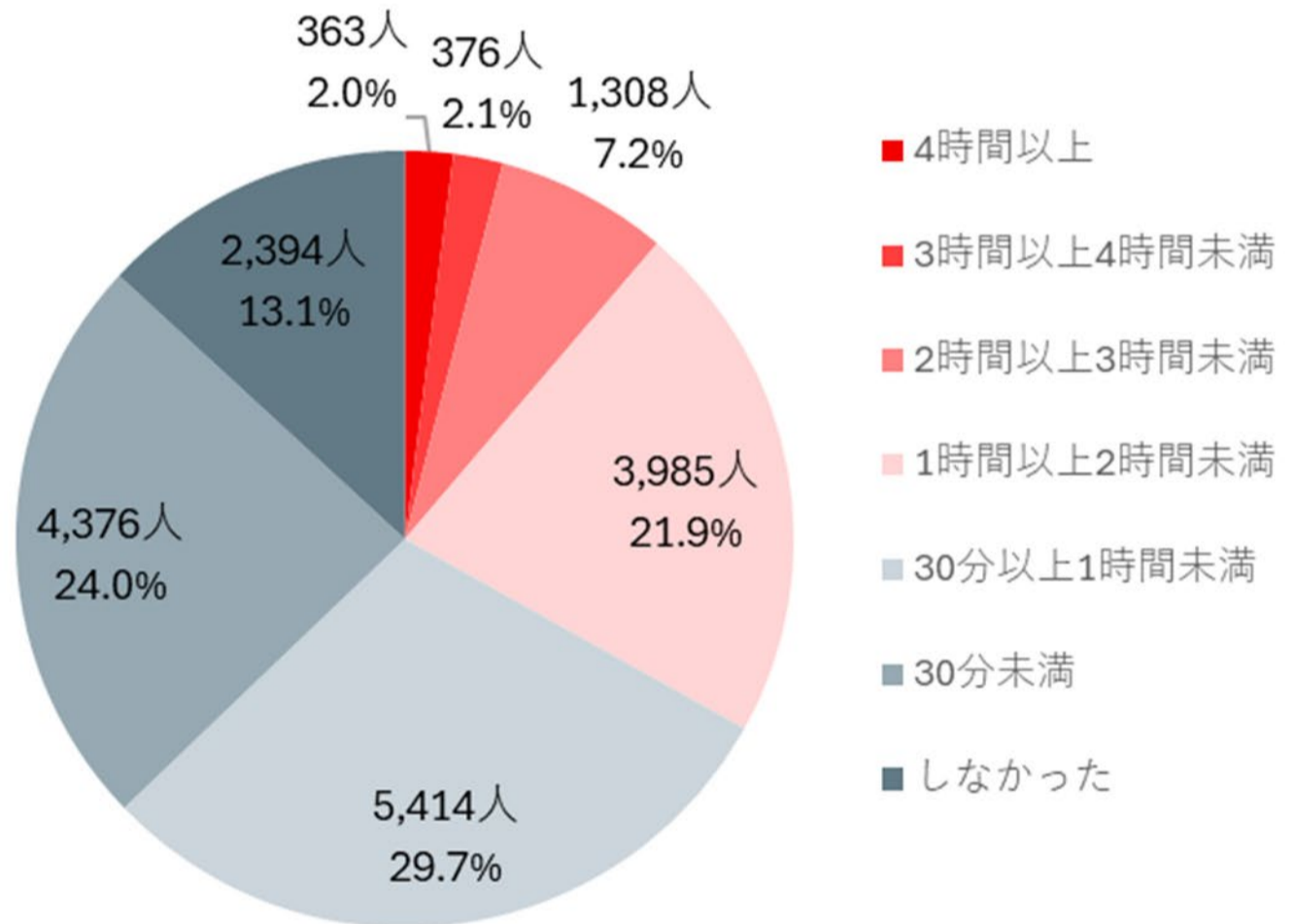
Q1. 1回の授業に対して授業外学習の時間はどのくらい？

自分はどう？



さて、みんなの結果は…？

**一番多い回答は「30分以上1時間未満」**  
**次に多いのは「30分未満」**



履修要項には・・・

「単位とは、学修の量を数字で表すものであり、下表のとおり、原則として各単位数によって必要な学修時間が定められています。」と記載されています。

単位数	学 修 時 間					
	講義・演習・講読科目の場合			外国語・スポーツ・実験・実習科目の場合		
	自主	授業	合計	自主	授業	合計
1	30時間	15時間	45時間	15時間	30時間	45時間
2	60時間	30時間	90時間	30時間	60時間	90時間
4	120時間	60時間	180時間			



区分	必要な学修時間	単位数
Semester型授業の場合	6時間（授業2時間+自主4時間）×15週=90時間	90時間÷45時間（1単位につき）= 2単位
通年型授業の場合	6時間（授業2時間+自主4時間）×30週=180時間	180時間÷45時間（1単位につき）= 4単位

ということは・・・

2単位の授業では、1回の授業あたり、実際に授業を受ける時間に加え、その倍の授業外学習をすると授業が十分に理解できる。ということになります。

「3時間以上の授業外学修をしている」と回答した割合は全体の約4%となっており、十分な学修時間を確保できていない実態もうかがえます。

シラバスや課題を意識しながら、学修時間を確保していきましょう。



**RYUKOKU UNIVERSITY**

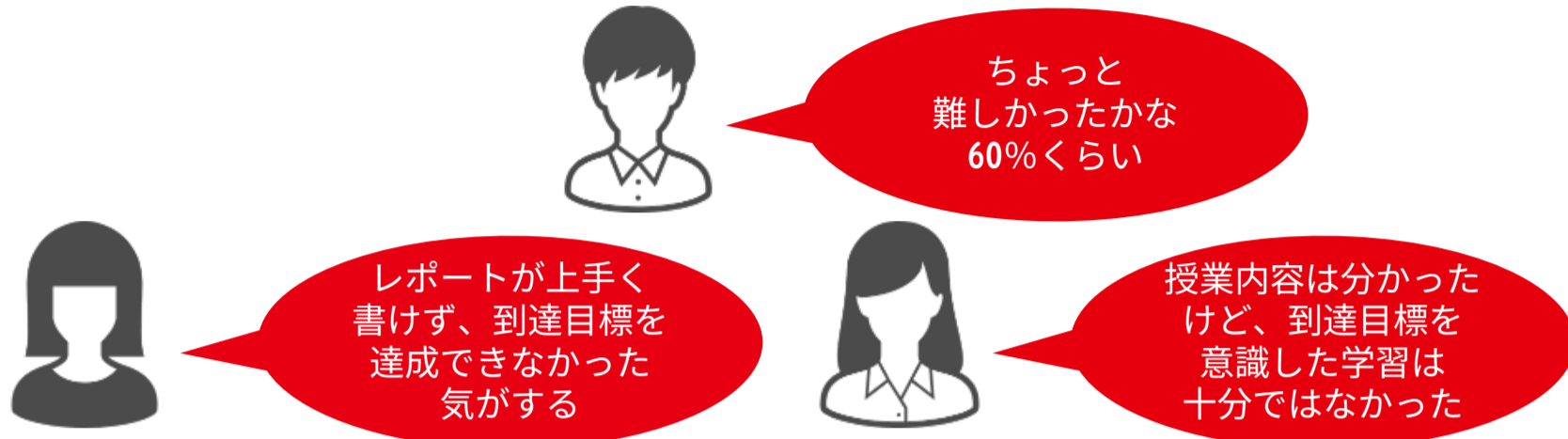
学修支援・教育開発センター

みんなの意見を先生に届けよう

# 学生による学期末の授業アンケート結果

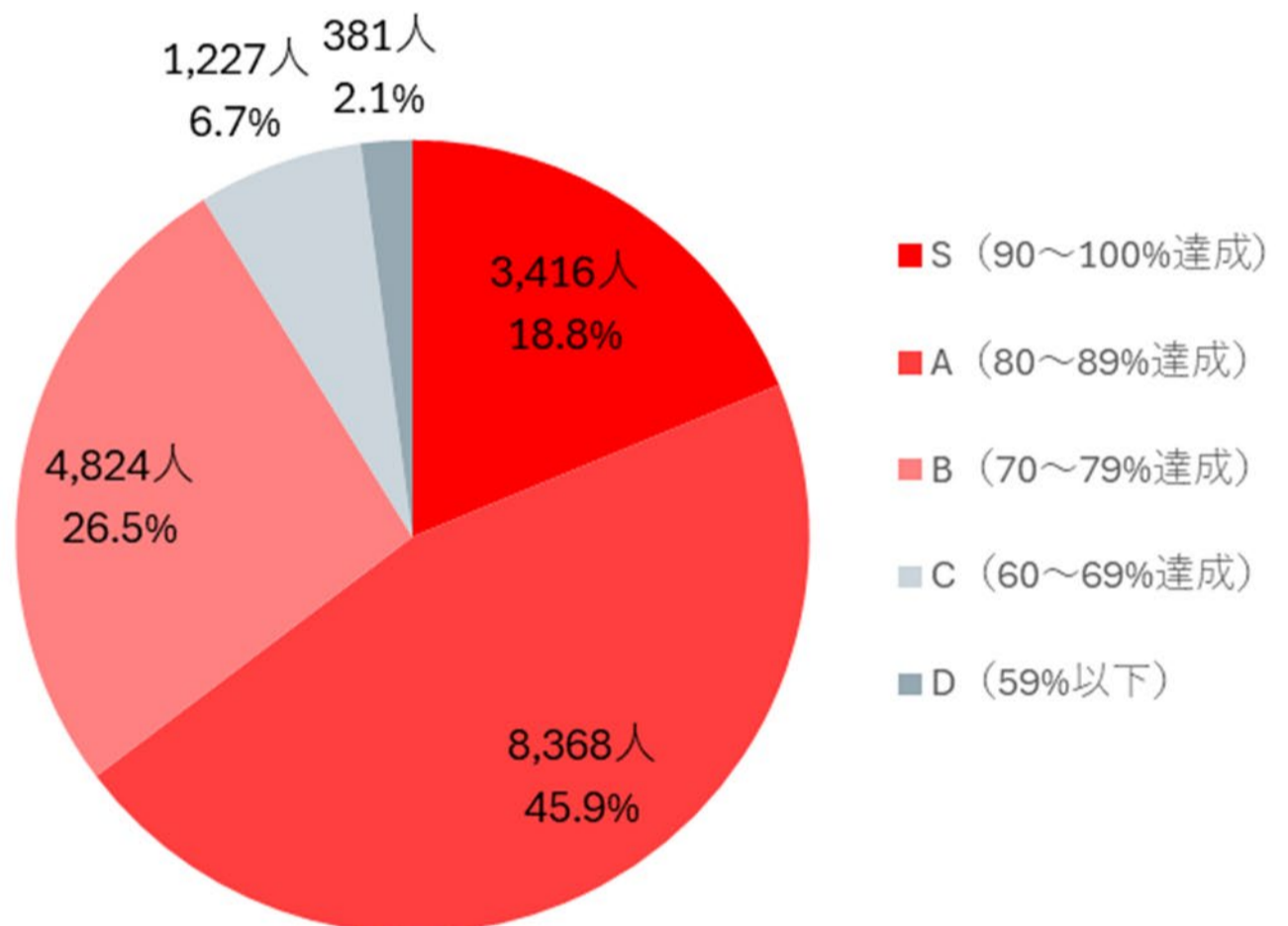
## Q2. シラバスの到達目標はどれぐらい達成できた？

自分はどう？



さて、みんなの結果は…？

一番多い回答は「A（80～89%達成）」



S（90～100%達成）、A（80～89%達成）と回答した割合は、全体の約65%となっています。

多くの学生が、到達目標を意識しながら学修に取り組んでいる様子が見えます。

到達目標は、授業を通して身につける力や理解の度合いを示す重要な指標です。授業を担当する教員も、学生の理解度を確認しながら授業を進めています。一方で、目標の達成が難しいと感じる場面もあるかもしれません。わからない点はそのままにせず、教員への質問などを通して理解を深めていきましょう。



みんなの意見を先生に届けよう

# 学生による学期末の授業アンケート結果

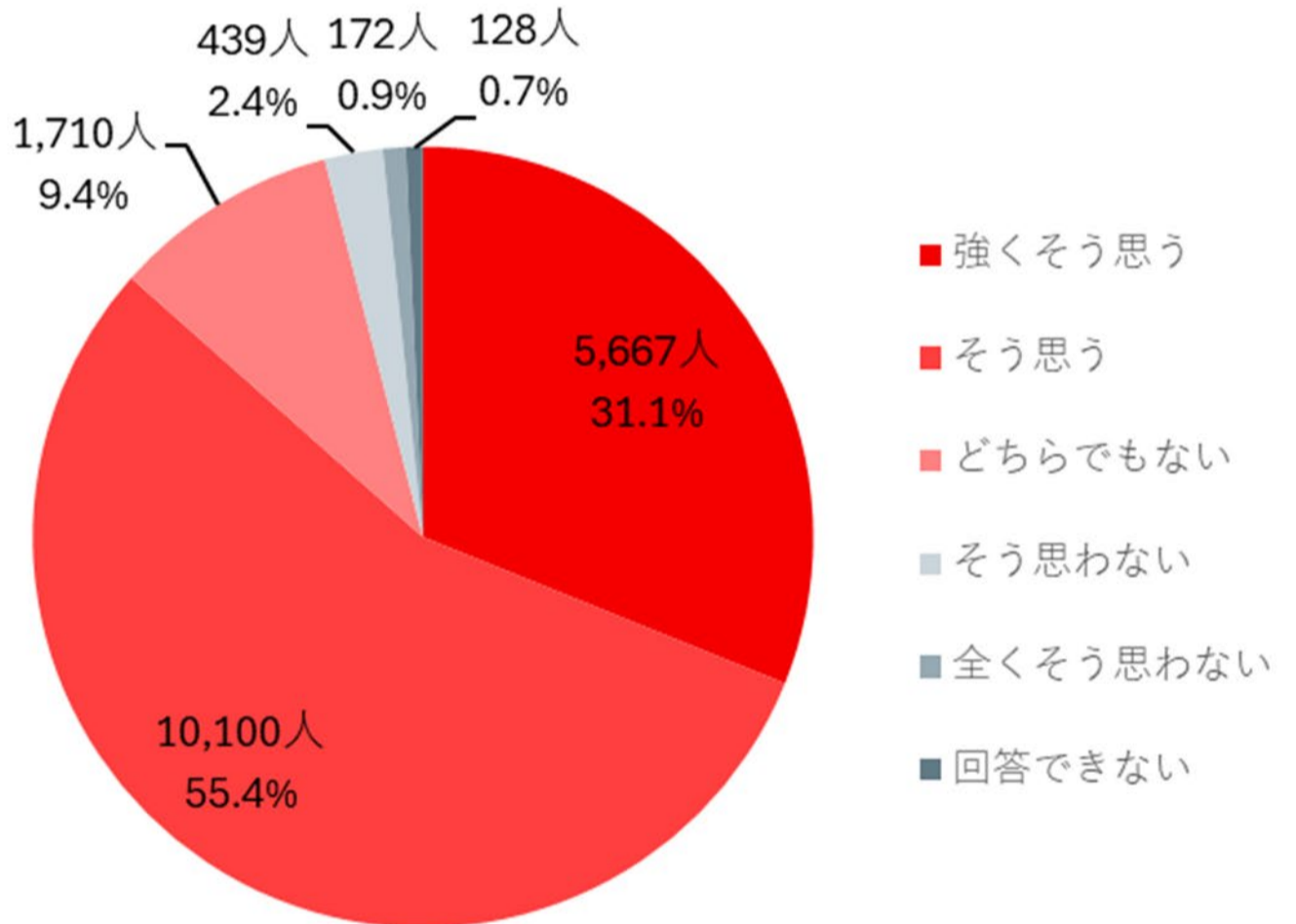
## Q3. 授業はシラバス通り進んでいた？

自分はどう？



さて、みんなの結果は…？

一番多い回答は  
「**そう思う**」  
次に多いのは  
「**強くそう思う**」



「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合は、全体の85%を超えています。

シラバスは、学生と教員が授業の目的や内容を共有するための重要な資料です。教員は、シラバスを基に学生の理解度に配慮しながら授業を進めています。

なお、シラバスに記載されている「講義計画」は受講生の理解度や進度に応じて修正される場合があります。

教員の説明を確認しながら、必要に応じてシラバスを活用して学修を進めていきましょう。



みんなの意見を先生に届けよう

# 学生による学期末の授業アンケート結果

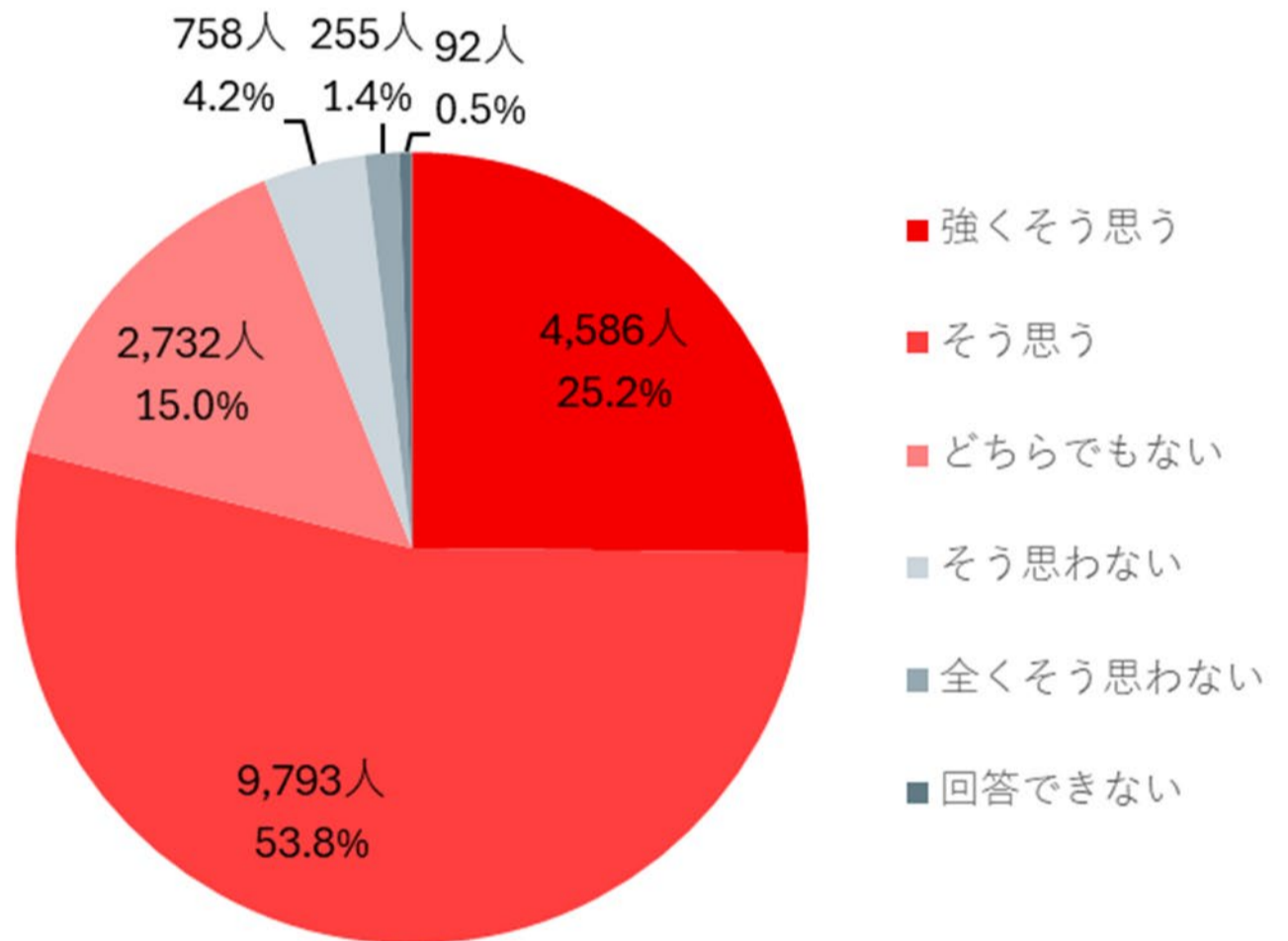
## Q4. 授業には意欲的に取り組めた？

自分はどう？



さて、みんなの結果は…？

一番多い回答は  
「そう思う」  
次に多いのは  
「強くそう思う」



「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合は、全体の約80%となっています。

多くの学生が、授業に対して前向きに取り組んでいる様子が見えます。

学修への意欲は、理解の深まりや学修成果に大きく影響する要素です。教員も、学生が意欲をもって学修に取り組めるよう、授業内容や進め方を工夫しています。授業中の取り組みだけでなく、授業外での学修との連動も重要です。日々の学修を振り返りながら、主体的な学修姿勢を意識していきましょう。

